

令和6年 佐賀市立本庄こども園評価結果

1 教育目標

感性豊かで健やかにのびのびと活動する子どもの育成

○夢中になって遊ぶ中で学びの芽を育む ○身近な人、地域、環境に豊かな心情を育む ○自ら健康で安全な生活をつくり出す力を育む

2 本年度の重点目標

- ① 園児が自ら主体的に環境にかかわる力の育成 ② 子育て中の親子が気軽に集い交流活動や子育ての悩みを相談できる支援センターの運営
③ 本庄小学校との幼小一貫教育の推進

3 重点取組の内容と結果報告

評価項目	取組内容	具体的目標	具体的取組	実施結果
学びづくり	・遊びを工夫する力の育成 ・自らの遊びを振り返り期待をもちながら遊びを楽しむ力の育成	園児の学びと育ちを肯定的に捉え、学びの過程を意識した指導計画の工夫に取り組む	園内研究会を通して園児の育とうとしていく資質能力を見取り、援助や環境構成を振り返る	子ども理解を基に指導計画作成等園内研で取り組むことで、様々な視点から育ちや学びを発見することができた
心づくり	・豊かな感性の育成 ・自分なりの表現を楽しむ力の育成	幼児理解に取り組み、遊びの時間や空間を十分に保障し、五感を生かして遊べる教育環境に取り組む	指導計画を基に園児にとって魅力ある環境づくりに取り組む 保育教諭の感性を磨き保育の質を高める	日々の指導等の工夫を行い、振り返りを通して子ども理解を深めている。保育の指導計画を全職員で共有できた
健康・体づくり	・望ましい生活習慣の形成 ・安全に関する資質能力の育成	基本的な生活習慣を身に付け、健康に生活する力を育てる 自分の命は自分で守る意識を高める	生活習慣の定着に向けて、全体指導と個に応じた日々の指導に取り組む 安全指導を受けて実践の場を活用する	各種訓練や指導を受けて、一緒に考え、日々の実践に生かしてきた。約束事が身に付き、安全への意識が高まった
支援センターの運営	・子育て支援センターの周知と事業の推進	定期的な支援センター「つくしんぼう」だよりを発行し、行事や相談事業の周知を図る	定期的な反省会を行い、業務の遂行と改善を図る 専門家の助言で支援体制の充実を図る	市報、HP、アウトリーチの事業等で事業の周知を図り、利用者増につながった 相談事業や育児講座の充実ができた
幼・保・小連携	・本庄小学校との幼小一貫教育の推進	双方の保育参観や授業参観を行い、幼小12年間の育ちと学びの共通理解を図る	交流活動の前後に打ち合わせを行い活動のねらいを明確にする 意見交換会等で目指す子供像を共有する	交流活動を通して入学への期待と不安解消につながった 近隣の保育園との交流ができた
業務改善・教職員の働き方改善の推進	・園務の整理や行事の精選等業務の効率化のための取り組み ・教職員の働き方の意識改革の推進	・園経営方針に基に目的に合った教育活動に取り組む ・園内での共通理解に取り組む	事前に主任会を行い会議の効率化を図る 職員会議後の連絡会で全職員の共通理解を図る	初めての職場で何度も話し合いを重ねて、保育や行事の在り方に取り組んだ 土台づくりへの意識が高まった

4 総合評価、次年度への展望

- 新しい園の運営で試行錯誤の1年だったが、職員の前向きな取り組みもあり、少しずつ全職員の協働体制ができつつある。
- 支援センター「つくしんぼう」の周知がすすんだ。今後、利用者のニーズを把握し、事業の充実に取り組みたい。
- 地域との連携を一層強め、園のよさが発揮できる教育環境の整備をすすめていく。
- 次年度は、4段階評価の数値目標や成果指標をできるだけ明確にして取り組む。